

最初の質問から授業支援を考える提案書

校長先生・学年主任・担当の先生へ | 学校の確認手順に沿って、ねらい・準備・分担・条件を整理します

出発点は、学校が育てたい子どもの姿と、今ある授業・行事です。必要な準備と一緒に整理し、実施を判断できる材料を用意します。

支援の4役割 計画と授業をつなぐ／教材・受入先を準備する／一緒に実践する／学びを見取り、改善する。

相談から実践まで	学校・先生が確認すること	私が行うことの例
1 短い質問 最初の回答は無料	学年・今の活動・迷っていることを一文で。 初回は学校名や児童生徒の名前を必須にしません。	質問に対して、考える入口をお返しします。 詳しい設計等へ進む前に範囲と費用を確認します。
2 支援案と条件の整理	ねらい、今の授業計画、必要な準備を確認。 具体的な整理・作成に進む範囲と条件を相談。	分担、用意する資料、日程、費用の有無を提示。 学校が検討しやすい相談案を整理します。
3 校内等での検討と合意	各校の体制に沿って担当・学年・管理職等で確認。 設置者への手続や契約等の要否は学校が確認。	検討に必要な説明・資料を補います。 活動範囲、費用、連絡や情報の扱いを合意します。
4 合意した準備と実践	教材・配慮・活動条件を確認し、 学校が実施と教育上の判断を行います。	教材の下書き、外部との調整、運営補助等。 必要な役割と調整権限を確認して動きます。
5 振り返りと次の授業	生徒の学びを指導・評価し、 次の授業や年間計画へ生かす点を決めます。	合意した記録や助言を整理し、 教材・準備・分担の改善案を返します。

校内で共有する内容の記入例

架空の中学校例。契約・実施実績を示すものではありません。学校の状況に合わせて書き換えて使います。

対象・今の活動 中2／計画済みの職場体験と事後学習。

育てたい姿 体験の事実と自分の関心から、次に調べることを選ぶ。

授業で使うもの 今のワークシートの問いの整理案、事後学習案。

学校の判断 ねらい・指導評価・実施、必要な配慮と手続。

私の分担案 問いの下書き、受入先への説明案、記録整理。

実施条件 時期・費用は未確定。支援範囲の確認後に見積・合意。

実働前にそろえる確認事項

担当窓口、範囲と費用、校内・教育委員会等の必要な手続、日程、調整の権限、安全・緊急連絡・中止条件、個別配慮、個人情報・撮影・公開。訪問支援の可否は地域・日程・内容で個別に確認します。

資料や授業案の相談と、訪問・外部調整の依頼は分けて検討できます。最初から年間契約や実施を決める必要はありません。

相談の入口「〇年・今ある授業の〇〇を相談したいです」の一文から。

初回30分無料。その後の設計・資料作成・実施支援は、範囲と費用を事前に確認し、お見積もりします。

吉田正之 | キャリア教育案内人 | 2026年10月13日更新 | A3横・1枚

参照：文部科学省「中学校・高等学校キャリア教育の手引き」（2023年3月）第2章・校内体制、計画、連携／相談の流れと分担は吉田正之の提案です。
基本方針：学校の教育の判断と必要な手続を尊重。提案書は相談・校内共有用であり、学校や設置者の承認・契約を代替するものではありません。

学校・先生向け相談フォーム

toi.manabi@gmail.com

